



発行 / 西東京市
編集 / 企画部広報広聴課
〒188-8666
東京都西東京市南町5-6-13

市役所代表電話 / 0424-64-1311

ホームページアドレス http://www.city.nishitokyo.tokyo.jp
(携帯電話) http://mobile.city.nishitokyo.tokyo.jp
(Lモード) Lメニューから検索できます。

市の人口と世帯数

(平成14年8月1日現在)

		前月比
人口	男	90,717人 (1,055人) 16増 (6増)
	女	91,790人 (1,342人) 70増 (増減無)
	合計	182,507人 (2,397人) 86増 (6増)
世帯数		80,565世帯 (1,237世帯) 28増 (4増)

カッコ内は外国人登録人口(再掲)

今号の主な内容

2面 公共施設予約サービス説明会



公共施設(公民館・体育施設)予約サービスの開始に向けた利用方法の説明会を開催します。

3面 西東京市情報セキュリティ基本方針



市のあらゆる情報資産を保護するため、基本的な考えを規定した「情報セキュリティ基本方針」についてお知らせします。

4面 学校選択制度について



「学校選択制度」の開始に際して、各学校の学校公開・説明会の日程等をお知らせします。

8面 ピ・スウォークにご参加を



市内の戦跡を訪ねます。身近な場所で起こっていた戦争を知り、改めて平和について考えてみませんか。



昨年の防災訓練会場(柳沢中学校)で

午前8時30分訓練開始のサイレン

地震発生の場合として市内75か所に設置の防災無線によるサイレンが鳴ります。

防災課(保谷庁舎内線2233)

毎年8月30日〜9月5日は防災週間です。市は、この防災週間中の9月1日(日)に、市民の皆さんと一緒に、田無小学校で「総合防災訓練」を実施します。7年前に大都市直下型地震である阪神・淡路大震災を経験し、わたしたちは、地震の恐ろしさを改めて学びました。その経験を忘れることなく、いつ発生するかわからない災害に備えなければなりません。

これらの災害を最小限に食い止めるためには、市民の皆さん一人ひとりが「自分たちのまちは自分たちで守る」という防災意識を持つことが必要です。訓練の中で、発災時の心構えや防災行動力を身につけ、また防災機関との連携を密接にして、地域の防災体制の強化を図りましょう。多くの皆さんのご参加をお待ちしています。訓練に参加された方には、防災記念品を用意しています。

総合防災訓練にご参加を

9月1日(日) 午前8時30分〜正午

田無小学校・田無駅北口ロータリー

訓練の日時等

とき 9月1日(日) 午前8時30分〜正午
ところ 田無小学校および田無駅北口ロータリー
対象地域 市全域(田無町を中心)

訓練の想定

「午前8時30分に、多摩北部直下を震源とする震度7の地震が発生し、田無町を中心に大きな被害に見舞われたので、市は田無小学校に現地対策本部を設置しました」という想定で行われます。

実施機関 西東京市、田無警察署、保谷消防署、多摩小平保健所、消防団、東京電力(株)武蔵野支社、東京ガス(株)西部支店、(株)NTTサービス東京東京西支店、その他協力団体

訓練の内容

午前8時30分の地震発生合図(防災行政無線によるサイレン)と同時に、市民の皆さんは「...」の集合場所へ集合してください。午前8時40分に「避難勧告」が発令されますので、関係機関の指示により訓練会場へ避難します。訓練会場では体験訓練と見る、聞く訓練を実施します。

市民の皆さんの集合場所

- 総持寺境内(田無町三丁目8番)
- 田無四丁目第3公園(田無町四丁目10番)
- 田無庁舎1階正面玄関前(南町五丁目6番)
- 南町一丁目第1公園(南町一丁目15番)

見る、聞く訓練

駅前救出・救護訓練(田無駅北口アスタビルではしご車等を使った救出・救護)

災害医療訓練(けがの程度によって傷病者を分類するトリアージを取り入れた効率の良い医療救護)

○ライフライン応急復旧訓練(電気、ガス、電話、水道の応急処置)

○防災パネル展示

○総合訓練(市民による小型ポンプでの消火活動訓練、消防署、消防団による一斉放水)

○市内小学校児童による防災絵画作品の展示

体験訓練

煙ハウス(火災時の煙の流れを体験) ○初期消火(消火器を使っでの消火) ○応急救護(三角巾で応急処置) ○炊き出し(日赤奉仕団の炊き出し) ○社会福祉協議会のアルファ米 ○総合訓練(市民・ボランティアによる倒壊家屋からの救出・救護訓練、消火器を使った消火活動)